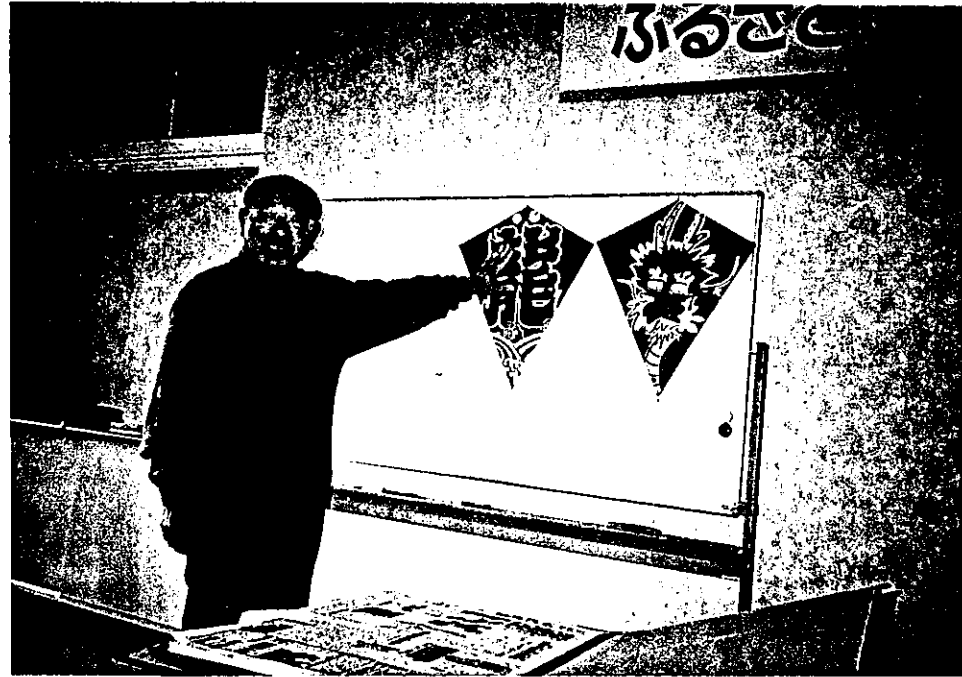
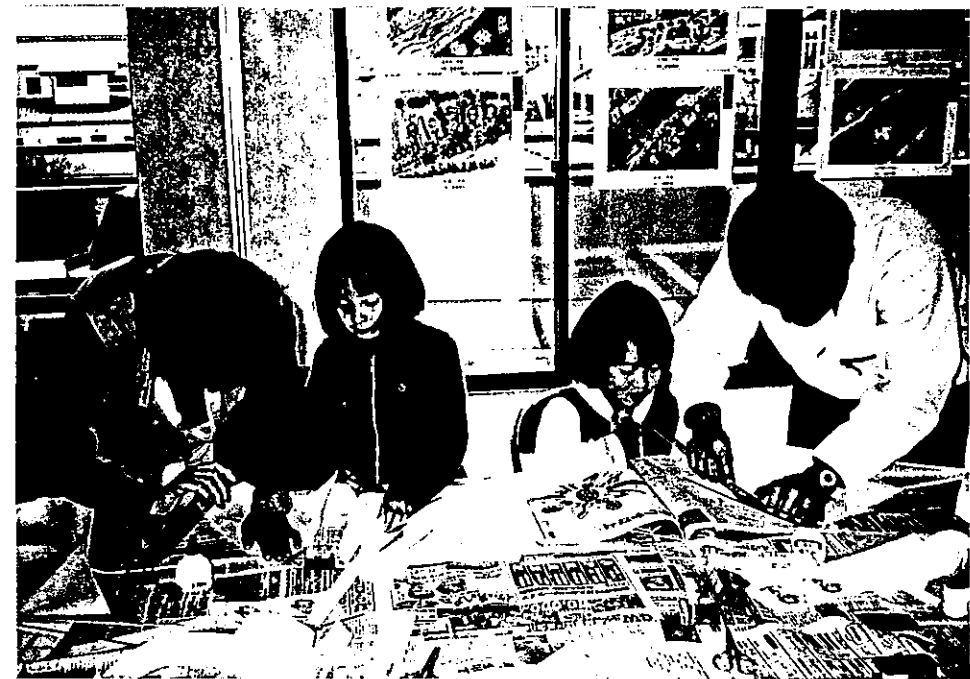


凧あげ講習会が開催されました



去る12月23日、コンクールの表彰式に引き続いて、凧あげ講習会が実施されました。昨年に引き続き、福島ものづくり工房の林勉先生を講師に迎え、約25名の参加を得ました。今年は本格的な和凧の作成がテーマで、先生の説明の後、子どもたちは一生懸命に作成に取り組みました。できあがった凧には思い思いの絵が描かれ、荒川の河川敷で空高くあげられました。

講習会に先立つ12月4日、地元町内会の皆様のご協力の下、荒川河川敷の清掃が行われました。河川敷では多くの人々が芋煮会を楽しみますが、残念なことに後かたづけが十分になされず、石やゴミが放置されたままになっています。今回はこれらの石やゴミを清掃しました。ご協力いただきました会員の皆様、地元町内会の皆様に、心より感謝申し上げます。きれいな荒川を後世に残すため、f a nもより一層、清掃等の奉仕活動に力を入れていきたいと思ひます。



荒川や水田にメダカと 子どもの歓声を呼び戻そう！

「メダカ」のことを皆さんはどれだけ知っていますか？今、メダカを見つけることはとても難しくなりました。

f a nでは、荒川の自然を豊かなものにしていくため、今年から新しい事業を始めます。

<荒川流域や自宅付近の小川でメダカを見つけよう！>

小学生の皆さん、荒川や自宅周辺の水田・水路などで、「メダカ」を見つけてください。もし見つけたら、絶対にとらないで、数や場所などを荒川資料室（電話：593-3525）に教えてください。f a nでは、メダカの住みやすい環境を作っていきたいと考えています。

※お父さん、お母さん、学校の先生などによく聞いて、絶対に危ない場所には行かないでください。

※ヒメダカや他流域で生息しているメダカを無秩序に放流することは、かえって生態系や遺伝形質を乱すことにつながります。このようなことはしないでください。

<荒川の木の実をひろって苗を育てよう>

昔のように荒川に小鳥を呼び戻すため、荒川の木の実をひろって自宅で苗を育ててください。今、荒川では改修工事が行われていますが、将来、適当な場所が見つかれば、みんなで植林をしたいと思ひます。

※荒川流域にも毒の実をならせる木もあります。お父さん、お母さん、学校の先生などによく聞いて、十分に注意してください。

皆様のご協力をお願いいたします。